

デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

			担当課名	社会教育課		事業No.	5	
事業名			「阿波藍」を活用した観光交流資源魅力化プロジェクト【地方創生拠点整備タイプ】					
目的			藍染め普及事業、阿波藍復興事業の中核施設として、地域おこし協力隊による藍関連技術者の養成拠点とするとともにすくも製造工程の見学や藍染め体験等の体験型観光が実施できる「（仮称）勝瑞藍工房本館」【現：あいずみ藍工房本館】を新築する。					
実施内容			藍染め普及支援として次の事業を実施。 1) 敷地造成（効果促進事業） 2) 本館整備（施設整備事業） 3) 駐車場整備（効果促進事業）					
重要業績評価指標（KPI）	指 標		開始前	2020	2021	2022	2023	2024
	販売額 （単位：千円）	目標		0	1,250	2,000	2,750	3,500
		実績	0	0	0	458	675	
	すくも生産量 （単位：kg）	目標		1,700	2,200	2,700	3,200	3,700
		実績	1,400	1,700	1,792	2,000	1,960	
	交流人口 （単位：人）	目標		0	2,400	2,800	3,200	3,600
実績		0	0	765	264	540		
達成度			A：達成 B：概ね達成 ㊟：未達成					

【事業費と財源内訳】

（単位：円）

2023年度	計画額	実績額	交付金充当額	備 考
事業費				2020年度施設整備完了

【2023年度の取組と課題】

地域おこし協力隊の活動拠点となり、絞りなどの技術習得を進めている。しかし、施設を活用した地域交流や、体験型観光については実施されていない。

【今後の取組】

施設を利用した地域おこし協力隊員の作品展示や、ワークショップを実施するなど、積極的に地域交流への活用を進める。同時に、文化観光の拠点である藍の館と連携して、本館は産業観光の拠点となり、本町の藍文化の発信に努める。

※藍住町地方創生推進会議の意見

・特になし